

【大投資家のバフェットに投資してもらおう、という視点について考える！】

どうもゆうです！

読者さん、こんばんは！！

さてさて、前号にて

【民泊の「宿泊税」を課す京都市の流れから考える税金官僚の問題点】

という号を流しました。

結局2016年にマスコミたちがやたらエアビーアンドビーとか

民泊叩いていましたが

それは官僚や公務員が規制して税金を奪うためそれをマスコミが「広報」

していたのだな〜と気づくのは大事ですね。

ちなみにあれです、マレーシアなんかだとみんなこういうのに気づくんです。

以前も書いたけど、マレーシアのタクシー運転手が私と話したとき、

ウーバーとかGrabみたいなタクシーサービスでマスコミが問題だなんだ

と騒いでることについて言ってたけど

「結局あとで税金とりたいたけさ〜はっはっは」と笑って言ってましたよね。

20歳くらいの運転手だったけど、他国ではそんな若い人でも

マスコミを妄信しないし、

ちゃんと自分で考える力があるってことなんです・・・

さて、それで私たちはそんな中でもお金を増やして利殖していかないと
いけないんだけど、

実は何気にみんなやってるんだらうと私は思っていたんだけど

知られていないのかな？と思うことがあって

友人に話したらびっくりしていたから

「あ、これメルマガに書かないと」とか思ったんだけど、

それが「ウォーレンバフェットに投資してもらおう」って考え方が

あるんです。

あの世界一の投資家、資産10兆円近くのウォーレンバフェットに

投資してもらおうっていう方法があるんですね～

まあやってる人はやってる話ですが、

編集後記で！



【ゆうプレゼント音声】

金持ちと貧乏な人の「考え方、思考方法の大きな違いとは？」

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kanemochishikou.mp3>



【ゆうプレゼント音声】

「時間を買う人」がお金持ちになるという音声です。

この「時間を買う」という概念を理解すれば

収入は一気に跳ね上がるものなのでよければ学んでみてくださいね～

「時間を買う」という音声

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/jikanwokau1.mp3>



【ゆうプレゼント音声】

価値がお金に換わる、という資本主義市場の法則について

【価値がお金に換わる】

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/kachihaokane.mp3>

(これを理解していれば、株なんかではそういう「価値」を作ってる企業が売り上げをあげるのだから株価あがりやすいよね、という話にもなってくる。上の価値を分析する、ってことができるようになると旅行しても消費しながら良い銘柄が見つかります。)



【ゆうプレゼント音声】

投資やビジネスで結果出すための考え方です。
教材や塾で結果を出す人と出さない人に分かれるんですけどそれは個人の資質というよりは以下で語られているような取り組み方の違いですので、知っておいてください。

「判断を繰り返す」

⇒ <http://fxgod.net/onsei/fx/hatten/handankurikaeshi.mp3>

(30分くらいです♪HIPHOP系の音楽付きです)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆう音声】

マレーシアからの音声です。

マレーシアでの生活をしてきた感じだとか、

マレーシアの驚くべき物価とか、住み心地、さらには最近の世界の動き

そういうのをツラツラと話しています。

(ゆう音声)【マレーシアで生活してみて色々わかったこと】

⇒ <http://fxgod.net/onsei/business/malaysialife.mp3>

(スマートフォンでも再生できます♪音楽付きです)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆうPDFレポート】

「恐ろしきバルサラの破産確率」

⇒ <http://fxgod.net/pdf/fx/balsara1.pdf>

☆☆

【ゆうPDFレポート】

【学校では教えてくれない「日本には所有権がない」という
驚愕の事実について考える！】

⇒ http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_shoyuken.pdf

☆☆

☆☆

【ゆうPDFレポート】

「海外移住する日本人が過去最多を
どんどん更新することについて考える！」

⇒ <http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/kaigaijuukakosaikou.pdf>

☆☆

【さらに学校で教えてくれない資本主義を理解しよう！】

☆☆

【ゆうPDFレポート】

【インターネットの登場が「人類に初めての資本主義」をもたらす】

⇒ http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_perfect_information1.pdf

(資本主義に重要な「完全情報とITの関連性」についての私の
レポートです)

☆☆

【ゆうPDFレポート】

【資本主義の「市場」には法則がある、と言う話】

⇒ http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/capitalism_market_rule2.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====編集後記=====

さてさて、それで私が時々友人に言うと

「あ、それいいね！」なんていわれることがあって

それが世の中には

「世界一の投資家のウォーレンバフェットに投資してもらおう」

という考え方がるわけです。

これ、私のメルマガでもよくバフェットについては扱ってまして

世間では結構みんな知ってる方法でやってることなんだろう

と私は思っていたんだけど

最近色々な日本の友達と話していて特に起業家さんとかと
話していて

「あ、それいいね！」と言われることもありましてですね、

「あ、これは結構意外にみんな持っていない視点なのかな？」

と思って今号で書きたいな〜と。

ちなみにメルマガで最近よく扱ってるFXとかあとは

仮想通貨とかあれらってのはあくまでも

「投機」に当たるわけですね。

ちなみにアフィリエイトの広告投資なんかも投資というよりは

投機に近いようなイメージを持っています。

ただこの「投機」は馬鹿に出来なくて

リスクは少しかかるんだけど、それがあたっていくと

さらに経験が積みばうまくなりますが

やはりある程度高い利率を確保できるわけでした

それこそ最近の仮想通貨とかICOとかですね、

あのあたりは資金が数十倍になるとか場合によっては

数百倍になるという「夢」というのはあるんだろうと。

それが精度高くなっていけばそれは投機というより

投資の性質に近くなるのかなという感じはします。

ただあくまでFXも仮想通貨も私なんかは「投機」と

位置づけているわけです。

んでアセットアロケーションって考え方があるんですけど

「アセットアロケーションとはなんぞや」という話は

今号でしませんが、よかったら調べてほしいけど

私の考え方では資産を安定的に増やすために

「投資と投機の配分を考えてトータルで増やしていく」

っていう考え方になるわけです。

だからFX「だけ」とか仮想通貨「だけ」と言う人は多いけど

ある程度資産が出来てくるとやはり長く稼ぎ続けたいわけですから

「投機だけではなく投資も」という考え方になるわけですね。

なので最初FXとか仮想通貨で頑張っって資産が出来てくるわけですけど

その後はやはり長期投資というか 投機と投資のバランスを考える

ということが必要になるわけですね。

んで、だからこのインフォ業界である「投資系」というのが
実際は大体「投機」の性質を持ってるんだけど

だから実力ある人は爆発的に稼ぐし、
そうじゃない場合は損しちゃうみたいな感じでして

やっぱりと実力で勝敗が分かれるのだけど

それは投機だからですよ、大きく見ると。

んでじゃあ逆に「投資」はどうなのか？という
投資というやり方だとあまり損する人いないんじゃないかな？

っていうのは正直私を感じる点です。

投機より投資のほうが簡単だよ、
とこっちやとあれですけど
両方やっていて本音で思うことです。

それで世界一の投資家としてウォーレンバフェットさんっていう人が
いまして、これはもうみんな知ってる人で
世界一の投資家ですよ。世界中で知らない人はいないくらいの
有名人です。

んで私なんかはウォーレンバフェットのファンでして
よくメルマガにも書きますし、また彼の関連する書籍ってのは
結構読んでるわけですね。

それでウォーレンバフェット関連の本とか読むと
色々と長期投資のやり方とかそういうのが分かるのですが

そこで思うのが「ウォーレンバフェットに運用してもらって
そこで彼の投資を学べないかな」

っていうことだったりするわけです。

だから結構世界中のバフェットを尊敬する投資家たちってのが
いて、

ある種バフェット信者みたいな人たちなんだけど
まあ私もそれに近いかもだけど

そういう人たちってのはバフェットの会社の
バークシャーハサウェイとかの株を保有するわけですよ。

それでこのバークシャーハサウェイってのは米国株で
まさにウォーレンバフェットが銘柄を選んでそれで投資して
どんどん時価総額が大きくなっている会社なんだけど

バークシャーハサウェイなんかはバフェットが経営を握ったのが

1965年からなんだけど

そこから大体2万倍くらい上昇してるわけです。

S&P 500が大体100倍ちよいの上昇ですから

その数百倍の上昇をしているのがバフェットのバークシャーハサウェイ

なんだけど

まあすごい会社なんですね。

なんてたって、バフェットがトップにたって

「よしアップル買い増しするぞ！」とか「ウェルファーゴ売るぞ」とか

常に判断を続けてる会社ですから。

そう、ローレンバフェット氏が投資して大きくしている会社が

これバークシャーハサウェイですよ。

んで、そしてバークシャーハサウェイの株価ってのはもうきれいに

長期チャートでは上昇トレンドでやはりこれがバフェットのすごさ

なんですけど

要するにそのバフェットが頑張って投資して株価をあげてくれる

バークシャーハサウェイの株価をずっと保有して

それで資産を増やすという考え方はあるわけです。

それでこれは世界中の投資家がやってることです、

リーマンショックなんかではバークシャーハサウェイの株価は半額くらいになってしまっただけ

それらも含めて、バークシャーの株価ってのは換算すると年利で大体8%前後出してくれるわけですね。

だから下手な不動産投資よりも私は長期投資としてはバークシャーハサウェイに投資してバフェットに運用してもらおうほうが楽だし、ただガチホ(ずっと持ち続けてる)してるだけなんで頭いいと思ってるんですけども

やはりこんな感じでずっとガチホして資産を増やしてる投資家は日本だとどうも少ないようだけど

マレーシアでも結構多いし、韓国でも結構多いしやっぱり私ゆうもその方法は良いと思ってる人なんです。

だって最強じゃないですか、バフェットが投資してくれるわけですから。

ちなみに、個人的にはもっと良い考え方でガチホする根拠、

すなわち利益が出てもかなりの期間ホールドする根拠があると
思ってるんですけど

それがやはりバフェットのバークシャーハサウェイとか
保有している投資家がみな感じるのだと思いますが

それは「バフェットの投資法に詳しくなる」という
作用があるんです。

だから世界中の投資家がもちろん資産を増やすためのも
あるけど

それ以上に「バフェットの株を持ってバフェットさんから
株について学ぶ」とってことを目的にして

それでバークシャーハサウェイというバフェット会社にみな
投資するわけです。

バークシャーハサウェイなんか持っていると彼の銘柄選定の基準が
分かるわけで、また彼についてもっと勉強しようという「意欲」
につながるわけでした

だからそれを根拠にガチホしてる投資家は世界中にいるってこと
なんですね。

それでバークシャーハサウェイの株価ってのはまあ安定してますから

ここで何にもしないで資産が増えていくのを時々見ていけばいい

みたいな安心感があったりするところから

日本以外の世界中の投資家には人気なわけです。

だからこれ書きゃうと元も子もなくて

みんながバークシャーハサウェイに投資するようになると

これは色々国内の株とかも売れなくなったりするだろうし

投資信託なんて情報弱者の商品だ、って分かっちゃうから

だからこの考え方が日本では一般的でないだろうと

マレーシア在住である私は感じましたが

ただ彼のバークシャーハサウェイの株をずっと何年も長期保有して

んでしばらくして利益確定する人もいるけど

やっぱりその人たちも一度ポートフォリオ見直して

バークシャーに再投資するわけですし、

こういう循環があつてバークシャーハサウェイの時価総額は

どんどん膨らんでるわけです。

なので憲法21条で言論表現の自由というのがあつて

それを根拠に書くのだけど

やはりどうしても儲からない個人投資家さんとかそういう人も
いるかもだけど

バークシャーハサウェイの株だと儲からないというのが
逆にむずい気がする・・・っていうのは感じる場所ですね。

それでバークシャーハサウェイ、バフェットの会社のよいところとして
「自分のお金が世界で有効に使われている」という充足感
ありますよね、やっぱし。

バフェットが有能な会社を社員たちに総勢で分析させて
それで「この会社は希少価値があって堀がある会社だな～」
という会社を自動で見つけてきてくれるわけで

そして自分のお金を使ってバフェットがそこに分散かけて
それで世のために投資してくれるわけです。

日本の銀行や政府のように米国債ばかり買うとかくだらない
投資は彼はしません。

んでバフェットの会社のバークシャーの株価が長期的に
S&P 500よりもよいパフォーマンスで上昇してくれるわけだけど

そこで投資家も主に米国経済に貢献はするんだけど

そこでちゃんとその貢献分の利益を得られるわけですね。

ちなみにバークシャーハサウェイの特徴としては配当金が
基本的にはないんですね。

アメリカの株ってのはこれ、ジョンソンアンドジョンソンとかみたく

これ年利で5%前後ついたりしてかなり美味しい株が多いのだけど

バフェットってのは「配当金には税金がかかるから無駄だ。

それならその配当金を出さないで私が再投資して株価上昇と言う形で

キャピタルゲインとして投資家に還元したほうが良い」

という考え方なんです。

だから基本的には反税金のリバータリアン思想ですね。

だから配当金は入らないけどその代わり、

ちゃんと株価上昇で報いてくれるというよさはあったりして

この辺がバークシャーの特徴ですよ。

もちろんバフェットはもうおじいちゃんですから

彼が死んでしまうと株価は下がると言われていますが

が、バフェットは後継者たちもかなりバークシャーの中で
育てていまして有能な人たちを育て上げてるから

だから私なんかはバークシャーハサウェイなんかは
長期投資に向いているな〜と勝手に個人的には考えているわけですが

こういう話を友人にしたら「それいい考え方だね！！」と
結構なお金持ちの方も言っていたので

これはこれでよい考え方なんで、私はこうやって書いてみるわけです。

それでバークシャーなんかの株ってすごいチャートがきれいで
もうずっと長期で右肩あがりなんだけど

今なんかは27万ドルです。

ただリーマンショック時には14万8000ドルから

7万3000ドルまで下がってまして

50%ちょっとほど下落しちゃってるんですけど

バフェットの会社でさえこういう大きなリーマンショック

すなわちリーマンショックっていうのはアメリカの債券市場で

ジャンク債(**high yield bond**)が崩れたことによって起こってるんだけど

(これも日本人は知らない。NYダウが崩れたのが原因だ、とか

思ってる人が多い。実際は大暴落は債券市場を元に
CDS みたいなデリバティブも絡んで起こります。)

そういった事象では株価は半額に下落するってことです。

んでバフェットも将来的に第2のリーマンショックを想定しているのは
なんとなしに分かることなんだけど

だからまたこのような株価が半額前後に下落する局面というのは
私なんかはシナリオ想定はしてるんだけど

ただそのリーマンショックのような株価が下落する局面も
踏まえて大体平均で年利8%前後ってのがバークシャーの株の
よいところだという分析をしている人も結構います。

だからマレーシアなんかでは金持ちが増えてますから
彼ら金持ちがアメリカの株特にバークシャーなんかはよく
投資されてるわけですけど

マレーシアの場合は定期金利が大体3%から4%つくわけです。

地元のマレーシアのマレー系の人たちは
6%から7%つくのだけど

中華系の人ちょっとそれよりは少ないのだけど
(4%前後でしょう)

が、中華系マレー人は頭はすごく良いですから

だから彼らなんかは英語も分かるから

そこでバフェットに投資したりってのは結構してるんですね。

あとは以前習近平が「あえて」暴落させた中国株です。

(日本人はこの習が「あえて」暴落させたという
視点を知らないんだけどそれには共産党内部闘争があるのです)

そっちのほうのマレーシアの銀行のメイバンクとか CIMB とか

あとは HSBC とか RHB とか、色々銀行あるけど

結局利率がよくて長期では安定してるねってことでして。

それで今なんかはトランプがこの前バノン解任して

それで軍産官僚たちと一応話しの折り合いつけて

債務上限問題なんかしてもらおうということになりましたから

だからこの辺でアメリカ株なんかは個人的には上昇シナリオも

見ないといけない情勢ですから

もちろん暴落可能性はゼロではないからそれも踏まえて

見てるわけですけど、まあそこでバークシャーハサウェイは

バフェットですから、

注目してる投資家は世界中に多いわけです。

といってもバフェットが最近株の保有を減らして

自己資金を増やしてるところから見ても

彼もまたアメリカの株が以前のリーマン時のように

崩れることを想定していると見えますが

ただそこもちろんと彼は自社株買いなんかで対応できるように

準備はしてるので

そこがまあしっかりしている感じはありますよね。

だから、これをいっちゃうと元も子もないあれなのかもしれないけど

情報教材にはならない内容だけどかなり手堅い方法として

バフェット株に投資するという考え方は世界に存在してる

ってことです。日本人が認識していないだけで。

それで米ドルと日本円の為替の密約ってのがあって

それで為替は動いてますから

大きいトレンドは発生しづらい状況であるってのが

これ副島先生に私が聞いたことなんだけど

だから為替損なんかもバフェット銘柄の場合カバーできるわけでした

まあもし為替損防ぎたかったらそこは

米ドル買った分両建ての感覚でドル円ショートすればいい話なんですけど

(これはファンドがよく米国株投資でやってる方法ですね)

そうやって資産を全体的に増やすことは可能な時代だから

まあ面白い時代だな〜って私は思います。

だから極端な話、投機をしなくてもこういう投資で

ちゃんと資産は順調に増やせますよって話でもありまして。

ただやはり投機は馬鹿に出来るか？というところではなくて

投機の仮想通貨は爆発力がありますよね。

また FX も最近ではユーロポンの下落で大もうけできた地合いでした。

だから投機も投機で、詳しくなればなるほど

利率あげられるので、資産を増やす起爆剤になるのだけど

ただ資産が増えてくると色々問題が出てきて

それこそ FX だったら枚数増えると約定拒否されました

ってのがこれ増えてきますし、

あとはスプレッドも広がられることも増えてきますよね。

また仮想通貨も ICO も長期保有となるとこれは

根拠が少ないという欠点はあることはあります。

だからここでどうしても投機より投資を同時に考えていく必要があつて

大きなお金は投資に回していくという考え方が稼げるようになってきた後の話として出てくるわけです。

んで世界中の賢明な投資家がそこでワーレンバフェットの株というのに視点を移している状況というのがこの数十年ありますよ、って話で

それはうまくいってるってのが現状なんですね。

それで「ガチホ」する必要があるまして、すなわち「利益確定をすぐしない握力」が必要なんだけど

そのために重要なのが「その会社が希少価値を生じさせていて世界経済に貢献してるか」とかですね。

これを主として考える必要があります。

またバフェットとかの銘柄だと確実に必要なのは

「バフェット銘柄を保有してバフェットから投資を生きてるうちに学ぼう」

という姿勢。

これがまあガチホの根拠にはなるわけでした

その辺をしっかりと固めての投資ってのは大事なのかな〜と思います。

私は米国株と韓国株なんかは思い入れの薄いものは

この前利回り計算のためにポートフォリオ見直したのですが

基本的にはもう思い入れのある、学ぶ気のあるやつ以外は持たないような方針・ルールですよね。

こうやって投機だけじゃなくて投資の観点も混ぜていくというのが

アセットアロケーション思想としては私は大事だと

考えるのですが

そのためにはFXだけ、仮想通貨だけじゃなくて

世界の株とか金銀プラチナ天然ガス原油みたいなコモディティ市場も

見たほうがいいですし

(ちなみにこれから2030年くらいにかけては

天然ガスの時代で、石油の時代ではないです)

そっちのほうで「長期利益の安定」につながるのは
これは間違いないともう最近はいっつも実感しておりますね。

とにかく「波」がなくなってきました。

またよくFXで「ポジポジ病」とありますが
これは長期投資している商品とか例えば金とか海外株あると
そっちもチェックしないとイケないから

だからFXだけでスキャルバンバンやるってことができなくなるんで
それが逆にいいわけです。

FXとか仮想通貨はあくまでアセットアロケーションの投機部門の
一部であるから、

精神的にそこに固執しなくてよくなるってことですよね。

んでトータルとして利益が積み重なって
これ資産が増えてくるわけでした

これまさに「投資家」としての立ち位置なんだろうと
感じます。

「投機家」というよりは「投資家」ですね。

んでだからといって投機もこれ魅力があって

ミドルリスクハイリターンを狙えますから

それは資金管理上で投機部門に資金を割り振って

大体20%でいいと思いますけどそれで

投資部門とあわせてトータル利益を追求できるわけでした

そういう大きな考え方が大事かな～と思います。

んでこういうことって昔はファンドがやっていたことだけど

今は普通に個人でできるすごさがあって

例えば日本人なら

SBI証券とかマネックス証券とか楽天証券とか

内藤証券とか

色々あるんですよ。海外株できるところが。

んでFXは結構いかついノミ行為が横行してるけど

海外株部門に関しては結構しっかりしていると。

また海外在住の人ならこれはやはり

香港のBOOM証券が人気でしょう。

(けどこれも日本のマネックスの配下です、今は)

だからまあすごい時代なんだけど、私は以前調べたけど
海外株ってやってる人が謎に少ないんですよ。

たぶんけど「知らないから」です。

けどさらに謎なのは日本株やってる人は多いわけです・・・

私も日本株はまあ結構社会に希少価値を与えてる中小企業とか
あとはつぶれてはいけない企業は買っていて

なかなか利益出ていてありがたい的な感じだけど

ただ日本株ってリスクはあるとそれでも思ってるんですよ。

というのは日本株の日経平均の過去最高値ってのはこれ

1989年12月29日 最高値 38,957円ですから

となるともうこれ30年近くレンジなんです。

もし日本株が過去最高値の38000円超えてきて

4万円にいつか奇跡的になったらですね、

それはきっとアメリカの債券市場が倒れて

日本が中国やロシアの BRICS と一緒にやりましょうとなる

何十年先のことなんだけど

そうになったら日本株って面白いと思うんですけど

今は大きく見るとレンジですからね、

これはなかなか長期保有の投資としては問題があるんです。

長期で利率が取りづらい。

ただ日本以外のアメリカ株の S&P とか NY ダウとか

あとはマレーシアや中国上海や韓国 KOSDAQ の株の総合指数、

あとはインドネシアも面白いんだけどジャカルタ総合指数とか

その辺見るとまあチャートがダウ理論的に結構きれいなんです。

上昇していて。

んでやはりやってると放置状態で

楽に利益出るんですよ、トレンドあるから。

だから本当は株やるなら日本株以外が儲かりやすいんだけど

だから最近日本人が海外でやってるファンドさんなんかは

実際は日本株よりも海外株やっていてそれで

顧客に利益還元してたりするわけです。

今はもうどの国でも投資できる時代でありますから

だから国というマクロ単位でも

もう少しアセットアロケーションの投資配分考えるときに

それぞれの国の長期株価推移、

アメリカなら NY ダウ、中国なら上海総合、

韓国なら KOSDAQ

マレーシアならクアラルンプール総合指数

インドネシアならジャカルタ総合指数

んで日本なら日経平均、

この辺は最低限、見るべきだろうと思いますよね。

今はそんなのスマホでぱぱっと10分で朝にチェックできるし。

んでここで世界の株とかコモディティとか

あとは FX も仮想通貨も ICO もいれて

大きくポートフォリオ構築していく

っていう姿勢が大事だろうと感じます。

これやっていくとトータルでは安定してきますから

やはりお金の点では相当イージーになると思います。

んで「けど第2のリーマンショックがあるかもしれない」

わけでそれは常に対策は必要だけど

例えばNYダウ上昇してたけどやはりリーマンショックの時の

下落すごいじゃないですか。

けどNYダウは長期ではそれも含めて上昇なわけです。

ただリーマンショック時に相当落ちてる。

ただ、同時にリーマンショック時にこれ相当値をあげてるのが

金=ゴールドでして実物資産といわれる金なんだけど

金もこれまた長期では値をあげてるわけですね。

だからそういうリーマンショックのヘッジってのもこれ

金保有でできるよ〜っていうことなんだけど

NYダウがなんかあって暴落しました、と。

がそのとき金は上がりますからね。大体のケースで。

んでその後NYダウがあがって回復すれば

金はまた落ちていくんだけど

NYダウも金も大きな視点、数十年視点ではこれは

一時下落がつき物だけど

長期上昇してるわけです。

だからポートフォリオとしてこの下落率計算を

NYダウ、金でしっかりしてですね、

それで暴落を補うようなアセットアロケーションを組む

という戦略がありまして、

私なんかはそれをずっとやってましてですね、

やっぱいいんです。

これを私は無料で書くんですけど上のこと検証したら

普通に何百万円の価値がある見方だと私は思ってるんですけども。

んでもう少し言うとこれからNYダウがしばらくあがったとして

そういうシナリオになったとしてですね、

ただいつかやっぱり崩れるんです、これはトランプっていうのは

それを本当はしたいから。

ただそこで台頭するのが中国ロシアのBRICSなんです、

好き嫌いじゃなくて世界の流れで。

いずれ中国の GDP がアメリカ抜きますから。

(※今は購買力平価ベース PPP ですすでに
中国の GDP がアメリカ GDP を抜いています。

われわれが普段使う通常の GDP は購買力平価 GDP に
収束していく性質があるので必然的に

中国の GDP がアメリカの GDP を抜くのはみんな反対しても
必然です。数十年して私の書いていることをみんな理解する。)

んでその時にやはり中国株とかロシア株もそうだろうし

新興国といわれてる今の国々の株価がどんどんあがる時期にも

はいりますから

だから NY ダウがいずれすごい下がったとしても

そこに新興国も巻き込まれるだろうけど回復は早いだろうな

と私は見てるんですね。

中国なんかはそれに対応するために上海総合が必要以上に

あがらないように押さえつけてますから。

これは日本がジャブジャブマネーでバブル作り出すのと

間逆の習の政策でして、だから共産党内部でも

習が安倍みたいにジャブジャブマネーでバブル作ってくれないから

共産党幹部内で反感があることはあるんだけど

それを習はおさえつけてる。

ということは上海総合はこれいずれ数年後に何か米国発の
下落があつて巻き込まれるだろうけども

その後回復するのは結構早いだろうなと私は見てるんですよ。

実は億り人ということで仮想通貨ばかり注目されてるけど

実はこの数年で中国株のテンセントとかで億万長者になつてる

日本人は結構な数いるんです。

ただこれは中国ですから政治的な部分があつて報道されていないだけで。

ただ証券会社の人間はそれを当然知ってるんです。

だから世界に目を向けて自分の資産をマネージしていく

という考え方、これは今の時代の、ネットで世界中に投資できる

新時代の素晴らしい考え方としてありますから、

これを知っておくという必要があります。

んで、以前に書いたのだけど「教材も塾もお金がなくて買えないです！」

っていう若者が結構いらっしゃる。

私もそうだったからね、すごい分かります。

ただ今から億万長者になる方法はあって

それは毎月5万円とかでもいいから

世界中のちゃんと上昇トレンドと、ダウ理論上

見えるような総合指数持ってる国の株を毎月買い上げていく

という方法がありますよね。

最初に書いてるバフェット投資なんかもいいと私は

個人的には感じるけど

またそれ以外にもインドネシア株なんてのは面白いですし

マレーシア株なんかも強いですね、

あとは中国株もいいし韓国株もなんやかんやで儲かります。

そういうところに毎月の貯金を割り振って行ってですね、

世界中の株とかあとは金とかですね、

これに割り振っていくわけです。

金なんかも5万円あれば10グラム買えますから

田中貴金属でも三菱マテリアルでも徳力でも日本では

買えるでしょうし、

韓国や中国なら韓国のジョンロ3ガは「金通り」

と言われていて

ここで日本で10万円で売られてる純金アクセが

6万円ちょいで買えますよね。

それは日本が高いってだけなんだけど

この辺もしっかりしていて韓国政府が不定期で

抜き打ち検査していて偽物の金がないか検査があるから

純金の純度がしっかりしています。

中国の純金もこれはフィリグリーインレイといって

加工品の質が非常に高く、日本の金加工技術以上です。

だから今若い人で「俺派遣で金がない～」とか

思うかもだけど

けども日本の「派遣で月手取り15万円」

って結構すごいですからね。

というのはマレーシアでも月給15万円ってのは

もう大企業のマネージャークラスですから。

それを派遣で誰も稼げる日本の今の特徴を利用すべきで

そこで15万円稼いで10万円で生活、5万円で
世界中の成長期待国や資源などの
資産を毎月買い入れていく、

これをずーっと5年10年やったら
普通に数千万円くらいは作れますよね。

したらいわゆる準富裕層ですよ？

んでそこで10年で準富裕層になりました、ってなったら
あとはもうそこで「投資知識」ってのが毎月の買い入れで
つきますから、

したらこれは次は富裕層、超富裕層になるための戦略も立てられるから
ここで時間かけていけば普通にお金の問題はなくなってくるわけです。

だから実は若者ほどチャンスに恵まれてる。知識があれば。

だからなんでもかんでも知識が命、であって
知識こそが聖書、ですね。

私たち日本人は宗教ないわけで私ゆうも無宗教だけど
ある意味宗教は「知識」であっていいと思う。

となるとそれぞれの個人はその知識を利用して

人生満喫できるわけでそれはそれですごい時代なんです。

んで日本は官僚機構がひどいですけど、

社会主義だから

「資本主義がこの国には一度足りとも

歴史で誕生したことがないから」

日経平均が38000円の高値更新できないんですけどね、

ただ今の日本人は個人で言えば世界中の株を買えるわけで

金も買えるし、「知識があれば」チャンスに恵まれてる時代です。

ちなみに左翼系の人「資本主義はダメだ〜」と言ってるのを

真に受けてはいけません。

右翼もこれまた「資本主義を守る」とか言ってるけど

両方情報弱者であると私ははっきり言いますけど

資本主義ってのはこれ

1公的部門と

2私的企業

が完全分離される体制を「絶対条件」とする体制です。

んで日本では1公的部門 2私的企業

が完全分離された体制はそれこそ戦国時代からも含めて

一度も確立されておられませんから

厳密な意味において、「日本には資本主義は誕生したことがない」

と言えます。

資本主義らしきもの、それは「前期資本主義」と言いますが

それは今誕生してますけど

それは今の GPIF や日銀 ETF で買い支えられる相場のような

官製相場であってこれは資本主義とは言わないのです。

似てるけども。

前期資本主義ってやつ。

純度の高い純資本主義は実はいまだ世界で誕生してません。

アメリカがそれをやりたいと今動いてるけどまだまだ先です。

だから資本主義は誕生したことはありませんから

日経平均は過去最高超えられないんだけど

ここで世界中の国々が資本主義を取り入れて研究していますから

そしてその国々の株価がこれからあがってきますからね

そこに若いお金が今ない人たちは投資を続けていって

金も購入していきポートフォリオ組み立てていけば

これ資産はかなり高い確率で増やせる時代だろうと

私は見ておりますよね。

まあみんな書いてもどうせやらないんですけど、やった人だけは

これ分かるというか。

んで投資で資産を毎月派遣でもバイトでもいいから

買い入れていく、これをやってる人は1万人に数人もいないかも

だけど

これをやる人は当然今20歳なら30代40代になったときに

まあカネはできるわけで

色々未来の可能性はかなりの確実性で

開けるよって話でもあります。

だから「知識こそが最強」でありまして

「知識を崇拜」するくらいの考え方が重要ですね。

知識があれば、勝手にお金はその後ついてくる。

行動力がなければだめじゃないか！

と言う人もいるけど行動力をあげる方法、も
これ知識の範疇(はんちゆう)
ですし。

んで私はこういうのを起業家の友達に私が経験的に
結構良いと知ってることなので

教えてあげるんですけど結構感謝してもらえるので
メルマガにせっかくなので今日書いたので

参考にさせていただければと思います。

この前 FXCM の元社長やっていた谷中社長との
対談音声流したけど

これ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FXCM の元社長の谷中さんとゆうの対談音声

<http://fxgod.net/onsei/fxcm1.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

結局の話、谷中さんがおっしゃってるように

これから日本は今までの貯金なりを利用して

配当収入を得る時代にはいつてきてますので

そしてその流れに政府や政治が入るのは遅いと思うので

その前に個人としては上に書いたような

金融戦略を持つのが大事でしょう。

んでその中にはワーレンバフェットに投資してもら

という考え方もあるし、

あとは金で下落をヘッジして安定的に増やすという

戦略もあるし

また成長著しいアジアにお金はこれから「絶対に」

こればかりは政治ダイナミズムの必然として

絶対という言葉避ける私でさえ

「絶対に」という言葉を使うくらい

今後数十年入っていきますので

だから成長国に投資するという観点も重要になります。

んでこれを長く継続してそういう株なりの資産や

金銀プラチナなどの実物資産を買い入れる

んで買い入れたら放置でいいと思いますが

それを積み重ねていく、

これをやると下克上戦略としては強くて

まあいいでしょうね。

んでその際の株の選定基準はバフェットがやってるような

「掘を見つけて掘がある企業に投資する」

ってのがあんだけど

それはバフェット株とか持っていると勉強する意欲が

出てくるから良いということでもあります。

ということで日本人はこういう金融知識を教えてもらえないんだけど

こういうの知っているとほんと人生変わっちゃいますから

知識は大事でして、

そして学問は大事でして、

なおかつ学問というのは人生向上させてくれるから

面白い！！

ってことですね。

義務教育の、

く〇みたいな学校の勉強がつまらなかったから

学問嫌いな人多いだろうけど

実は、

「カネや性についての学問は楽しいのだ」

この真理に気づけたら人生変わりますよね。

人生が前に「ぱっ」と開けるかと思えますよ。

学問というのは義務教育のように

奴隷になるための方法を学ぶことではなく

人生をそれぞれの人間がかなり自由に

謳歌するために学ぶものでありまして

そのために上記のような金融の知識があるってことでも

あります。

投機だけやってるって読者もいるかもだけど

私はあくまで自分自身が投資と投機を組み合わせてるので

そしてきつとこれが真髓だから、

それを是非考えてみるといいと思います。

では！